

関係者輸送ルート（オリンピック・ルート・ネットワーク）の検討状況

1. 関係者輸送ルートの設定における基本的な考え方

○全体

関係者輸送ルートは、東京 2020 大会による全ての大会ステークホルダーに対し、安全・円滑かつ効率的で信頼性の高い大会輸送を提供するとともに、一般市民生活や都市活動に与える影響を考慮して設定する。

○関係者輸送ルート（オリンピック・ルート・ネットワーク）

【設定にあたっての基本コンセプト】

- a. 安全性、定時性を考慮し、一般道に比べ信号交差点がなく事故率も低い高速道路を主として設定する。
- b. 一般道路においては交通容量の大きい4車線以上の道路を優先して選定する。
- c. 最寄りとなる高速道路出入口から競技会場等までを最短距離で結ぶ経路を設定する。

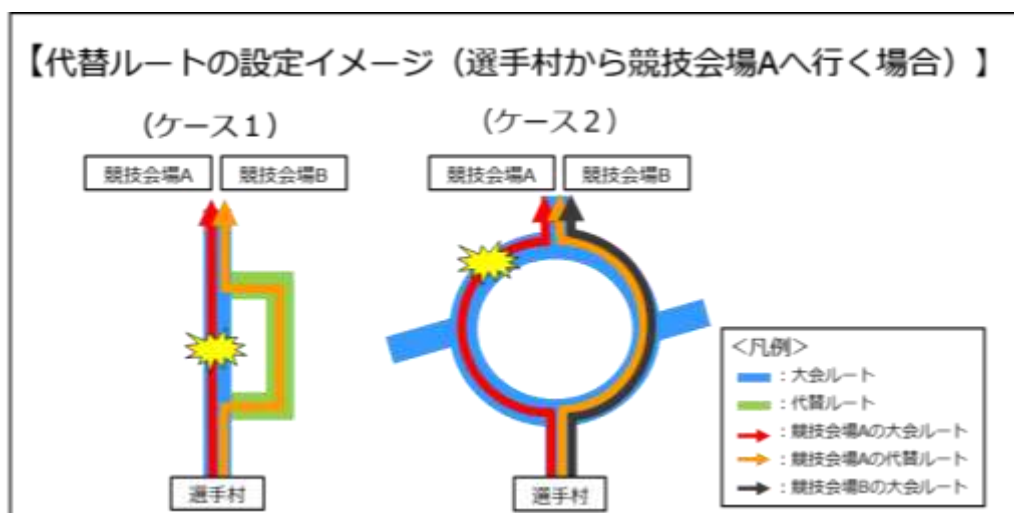
【代替ルート】

①代替ルートの必要性

- ・原則として通常時は、大会ルートを利用する。
- ・事故や自然災害等に伴う交通容量の低下や、他路線からの交通転換などの需要増により、大会ルートが本来の機能を発揮できず TSM を講じても影響を回避できない場合には、必要に応じて代替ルートを利用する必要がある。

②代替ルートの定義

- ・選手等が利用する大会ルートについて、代替ルートを設定する。
- ・迂回のために新たなルート設定が必要な場合には、そのルートを代替ルートとして設定する。
- ・他会場の大会ルートを利用して迂回できる場合には、そのルートは代替ルートとして取り扱わない。



2. 関係者輸送ルートの運用手法について

「東京 2020 大会の交通マネジメントに関する提言（中間のまとめ）」に基づき、TDM（交通需要マネジメント）と TSM（交通システムマネジメント）で構成される交通マネジメントを実施し、大会関係者の円滑な輸送と都市活動の安定の両立を図る。

<関係者輸送ルート概念図>



3. 東京圏における関係者輸送ルートの検討状況

代替ルートの設定の考え方や大会ルート（高速道路・一般道）、一般道における交通システムマネジメントの考え方を今回提示する。

	ルート設定の考え方	ルート（案）	交通システムマネジメントの考え方	
			高速道路	一般道
大会ルート	公表済	公表済 ^{※1}	公表済	今回提示
練習会場ルート	公表済	検討中		
代替ルート	公表済 ^{※2}	検討中		

※1 高速道路区間の一部については、輸送運営計画 V1 にて公表済

※1 メディア・IF 等の関係者ホテルからのルートの設定、開閉会式や路上競技開催時等の特殊日等の輸送オペレーションの検討の結果を踏まえ、追加・変更の可能性はある。

※2 オリンピック・ルート・ネットワークの設定にあたってのコンセプトは、輸送運営計画 V1 にて公表済であるが、今回、代替ルートの必要性などその定義を示した。

（添付資料）

資料 4-1-1：関係者輸送ルート（オリンピック・ルート・ネットワーク）【案】